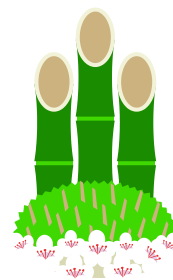




諏訪小だより



富士見市立諏訪小学校

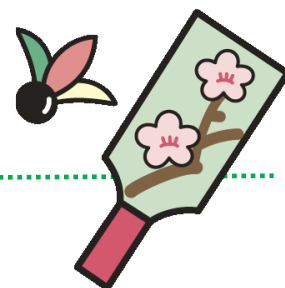
令和8年1月19日学校だより NO. 10

校長 石井 勝博

習慣とするには…心

保護者・地域の皆様におかれましては、令和8年の新春をご健勝にてお迎えのこととお慶び申し上げます。諏訪小学校の子どもたちにとって、また、保護者・地域の皆様にとって良い年になりますようご祈念申し上げます。本年も、本校の教育活動に対する保護者・地域の皆様の一層のご理解とご協力・ご支援を宜しくお願いいたします。

昨年終わりには、学校評価へのご協力、ありがとうございました。いただいた意見をしっかり受け止め、お褒めいただいたことは全教職員で共有し、課題につきましては、課題解決に向け改善策について検討し、信頼される学校を目指し取り組みでまいります。



さて、多くの人には、朝起きてからや寝る前に歯を磨く習慣があります。なかには3度の食事の後にも必ず歯を磨くという人も少なからずいます。なぜ、その人達には、そのような習慣が身に付いたのでしょうか。

自分で歯を磨くことができなかつた小さい頃、私の家でもそうだったように、親の膝の上に仰向けに寝かされて磨いてもらった記憶のある人もたくさんいると思います。そして、自分で磨けるようになって、最初は周りの大人から「磨きなさい」と言われて嫌々磨いていたのが、いつのまにか言われなくても自分から磨くようになっていきます。それは、「磨きなさい」と言われたいようにしたいから、虫歯になって痛い思いをしたくないからという理由だけではないそうです。

本当に自分から進んで歯を磨く習慣のある人は、そのような外因的な理由からではなく、そのような習慣を積み重ねることによって、歯を磨いた後の口の中の爽快感を知っているからなのです。このような内面的な動機から習慣化していることが、本当に習慣として身に付いたということなのです。

基本的な生活習慣というものは、外因的な理由からではなく内面的な心を伴って初めて本当に習慣として身に付いたということなのです。

温かみのある挨拶、清潔感のある服装をすることの心地よさなど、その姿、形だけを求めるのではなく、その行為の内にある心と関連させて指導することが、生活習慣を確立していくうえで大切なのです。

学校や家庭においても、このように姿、形に伴った内面的な心もあわせてはぐくみ、よい生活習慣として身につけていけるよう指導していきたいものですね。

<本物に触れる>

少し前の話になりますが、11月12日にハンドボールの壮行試合（大崎オーソル 対 セルビア共和国デフハンドボール代表）が総合体育館で行われ、本校の4年生が観戦することができました。

プロの試合を間近に見て、パスのうまさやシュートの迫力に圧倒されながらもプロの凄さに感動していました。

試合後には、選手のサインの入ったセルビアの国旗をいただくとともに、子どもたちからのメッセージをセルビアの国旗に書き、渡すこともできました。

セルビアの選手たちも大変喜んでいただいていたことを市長さんからもお話しいただきました。